

福岡便教会だより

第六号 平成二十三年七月十九日発行

第六回 福岡便教会・研修会の概要

六月二十六日(日)午前八時三十分から、福岡市立和白中学校において、講演会参加者を含めて百五十名の参加をいただき、定例研修会を開催しました。

今回のねらいは「下座行に徹して、謙虚な教師になろう」そのための「凡事徹底」でした。

今回うれしい事がたくさんありました。いくつか挙げてみます。まず、日本を美しくする会の相談役鍵山秀三郎先生を講師にお迎えして、演題「凡事徹底―平凡なことを非凡に努める―」を講演していただいたことです。七十分間、笑顔で、時には冗談を交えながら人としての生き方について素晴らしいお話をいただきました。

次に、参加人数が多かったことです。参加者の内訳は、福岡市立学校の教職員が六十二名、市教委事務局が酒井龍彦教育長をはじめ二十四名、市外の教師が十六名、一般社会人が三十二名、生徒が四名、保護者が二名、講演のみの参加者が十名でした。

さらに、掃除実習では九州各地、遠くは横浜から「掃除に学ぶ会」のベテランが各班のリーダーを引き受けていただき、掃除の仕方や掃除哲学について丁寧なご指導をいただきました。

参加された方から、「とってもいい経験になった。参加してよかった」と喜んでいただきました。ご支援頂きました皆様に感謝申し上げます。

しかし、講演の時間確保のため、掃除時間や昼食の時間、さらに閉会行事にゆとりが取れなかったこと、講演の音声が弱く聞き取りにくかったことなどを反省しています。

福岡市は「新しいふくおか教育計画」の中で教育の凡事とも言える「福岡スタンダード(あいさつ・掃除・自学・立志)」を策定しました。現在、二三四校全ての市立学校・園が保護者、地域と一緒に取り組んでいます。



(上)「あいさつ」
(下)スタンダード君
の縫いぐるみです。
「そうじ」↓



感想文の紹介

限られた紙面ですので、全員紹介できないのが残念です。

●講演「凡事徹底」の感想

「凡事徹底―平凡なことを非凡に努める―」

①人としての生き方(哲学)を教えてくださいました。先生の人となりを感じることができ、参加してよかったですと感謝しています。

②尊敬する鍵山様に実際にお会いでき感無量です。お話も感銘を受けるものばかりで、美德

と悪徳との比較、非凡な人と平凡な人との行動の比較、人が人であることの四つの条件など、特に「感謝の心」↓「縁が続く」までは理解していましたが、↓「未来への責任を持つ」ことまでは考えもつきませんでした。なかなか意味が深いので、今後心に留めて行動していきたいと思えます。

③講演の最後のあたりで、紹介された言葉が私の心に強く突き刺さりました。「英雄は自分ができることをやる。凡人は自分にできないことを望む」「いつかまとめてやろう」これらのことを日々の行動の教訓にしていこうと思います。

④鍵山先生の「掃除道」をつい先日読ませていただきました。トイレ掃除と一緒に、自分の耳で実際に聞くことで、日常生活における「時」の活用の仕方を改めて見つめ直させていただきました。一番心に残っていることは「誰の仕事でもない仕事」に対して、積極的に取り組む公共心と感謝の心を持つことで、人の縁を作り、未来への責任を持つということがわかりました。

まだまだ講演を聞きたい気持ちでいっぱいです。⑤誰の仕事でもないことを私の仕事にするというのが印象に残りました。今だけ、自分だけという考えを持たないよう、これからも自分の心磨きをしていこうと思いました。

⑥「凡事徹底」という言葉はとても大事なことだと思います。先生の言葉一つ一つが心に沁みましました。子どもの発達段階に応じて、凡事徹底の意味を話していきます。

⑦講演を楽しみに参加しました。「環境が荒れ



鍵山先生の講演に聞き入る。

ると人の心も荒れる「真のエリートは自分がなくてでもいいことを心を込めてやる人」「人間の欠点は一人では生きられないこと、だからこそ補い合ったり、助け合ったりする」「誰の仕事でもない仕事は実は一番大事なこと」など共感し、心に残る言葉をたくさん拝聴することができ、とつても感動しました。

⑧一番心に残っていることは、誰の仕事でもない仕事に対して積極的に取り組む公共心と感謝の心を持つことで、人との縁をつくり未来への責任を持つということが分かりました。まだまだ講演を聞きたい気持ちでいっぱいです。

⑨当たり前のことを逃げずに、毎回、毎日継続していくことの大切さを学びました。自分のことだけを考えずに、周りのことも気にして仕事をしたいと思いました。そうすることに、人は協力し、助け合って歩むと楽しい人生を送れるのだと思いました。

⑩鍵山先生の「掃除道」という本に感銘を受けて参加させていただきました。実際に目の前で講演を聞かせていただきました。実際に目の前で掃除に対する姿勢ひとつで人の生き方が本当に変わるかもしれないと心から感じました。普段生徒の前で掃除の指導をしています。心に残るような指導にはまだまだ程遠いように感じます。これからは、自分の信じたやり方を本気で伝えようと思います。

⑪下村湖人の哲学「いかによく生きるか真摯に自分に向き合うこと」を問い直す機会となりました。「継続は力なり」を座右の銘としておりますが、改めて自分にできることを無理なくこつこつと完成していくことを裏付けしていただいたように思います。

⑫「真のエリートとは心を込めてやる」ことを生徒会役員立候補に合わせて話します。「ルールがあるから楽しい。ルールを自分に課す」ことは、やんちゃな運動部の子らに話します。「毎日少しずつ、できるだけ、私が：」は、自分のできる範囲を広げ、我が家を片付けます。

鍵山先生の笑顔には心が洗われます。

⑬出版されている本、雑誌への寄稿や対談などを読み、今までの経営への掘り所とさせてもらっていました。お会いするのは初めてでしたが、何度も聞いたような感じでした。じかにお話を聞いてより一層心に響きました。

○鍵山先生のお人柄に関する感想をまとめてみました。

- * ホワイトボードを使用された講演は非常に分かりやすく、考える時間がありました。
- * 先生の人となりを肌で感じる事ができ、心温まる控えめな話にすごく感動しました。
- * ひとつひとつの言葉が心に染み入りました。
- * お人柄が伝わってきて、もっとたくさんの人に聞いてほしいと思いました。

- * 細やかな心配りに感動しました。
- * 人徳の積み重ね方を話の内容、話しぶり、身振り手振り、表情から学びました。
- * 内容が分かりやすく、ユーモアたっぷりを感じました。

* それぞれのエピソードの中に、気づきがたくさんあり勉強になりました。



「掃除前の気持ちを正直に言ってください。掃除の後に、どう変わったか比べてみましょう。」

掃除前の班のミーティング風景

●掃除を終えたときの気持ち

①水濾しにこびりついた尿石の取り方を亀井さんに教えていただき、面白いように取れました。やり方がわかると楽しくなります。

②仕事のことと頭が

モヤモヤしていたのですが、掃除をしていると無心になり、爽やかな気持ちになれました。後味のよい体験でした。

③班のチームワークやリーダー・サブリーダーさんの指導がとても細やかで、心もきれいに磨かせていただきました。

④丁寧に向き合うことで、今までは通り過ぎていた事柄にも気づくことがよく分かりました。

⑤リーダーやサブリーダーの先生に褒めていただいて、子どものように嬉しくなって、さらに頑張る自分がいました。

⑥褒められるととてもうれしかったです。途中で何度もリーダー・サブリーダーの方が褒めてくださったので力がわきました。暑かったですがとても気持ちよかったです。

⑦今回は全国各地から経験豊富なリーダーさんに指導していただきました。お陰でたくさん学びました。チームワークよく研修を進めることができました。



スクレイパーで尿石を削り落とす

⑧汗をかいてトイレ掃除を行ったのは三十年ぶりでした。自分の心を磨くつもりでと意気込んで一つ一つを丁寧にやりました。うまくできたか分からないけど、リーダー、サブリーダーさんがとても褒めてくださったことが何よりうれしかったです。トイレ掃除がこんなに奥の深いものかと改めて感じました。まだ入口の門を叩いたばかりですが、このような機会をつくってくださいありがとうございます。

⑨自分のためと思っていたが、今回は他人のことを思っている掃除もあることに気がきました。換気扇のゴミを洗い場で落とすのではなく、先にゴミを落として洗うと他の人に迷惑をかけず速く汚れを落とすことができました。

⑩サブリーダーとしての動き、言葉かけなど手取り足取り詳しく教えてくださり、本当によく分かりました。分かったことを自分のものにすることはまだまだですが、育ててくださる心がうれしかったです。ありがとうございます。

●この体験を自分の職場で何をやるのに活かしますか。

①今日の感動を他の先生に伝え、学校の環境美化に貢献していきます。次の研修会の会場はぜひ自分の勤務校にお願いします。

②私は技術吏員一年目です。生徒・職員のために整備や修理に携わっています。清掃においても「みんなが気持ちよく使用できる」ように心配り気配りのできる技術吏員に成長していきたい

と思います。

③リーダーさんが「便器に正対して…」と言われました。人に対しても同じだと思えます。人ときちんと向き合う。物事に真正面から向き合う。このように明日からきちんと正対して取り組み、さらにコミュニケーションをとっていきたいと思います。

④誰の仕事でもないことを「毎日、少しずつ、私が」やってみるようになります。今回は、きれいな女子トイレでしたが、きれいだからこそ毎日掃除しなければならぬことが分かりました。

⑤学校での清掃指導に苦慮しています。教頭先生から「まず自分が変わらなければ！」と言われ参加しました。情熱的なリーダーさんたちと一緒に掃除できたことは私にとってかけがえのない経験となりました。

⑥学校の階段に鍵山先生の「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」の言葉が貼られています。まずは自分の行動を変えていきます。

⑦本校では、六年生の立つ鳥運動でトイレ掃除をしています。翌日には低学年の子が「六年生がトイレを新品にしてくれた」と言って喜んでくれています。その喜ぶ姿が六年生の心に大きく響いています。日頃も一く六年生が縦割り掃除をしています。その際も高学年の子が便教会の掃除のノウハウを低学年の子に丁寧に教えてくれます。

⑧便教会の掃除のねらいは、自分を変えることだと分かりました。トイレに限らず身近な

ところから環境を整えていくよう、日々心がけていきたいと思えます。



⑨リーダーから支援を受けながら、便器をきれいにできたことが嬉しかったです。子どもたちにも「掃除をしないさ」と言うのではなく、丁寧な指導と用具も揃えてあげたいと思います。
☆和臼中学校の生徒会役員四名が参加しました。感想の一部を紹介します。

*鍵山先生の話聞いて私もこんな強い心を持つて人生を歩んでいけたらいいと思いました。
*トイレがこんなにきれいになるものなのか、とつても驚きました。

*学校では、トイレだけでなくいろんな場所でも十分間の掃除時間を活かしたいと思えます。

*実習する前はトイレ掃除が少し嫌でしたが、とても楽しく途中から無我夢中でした。美化委員長として、今回習った方法をきちんと活かしていきたいと思えます。

◎紹介 鍵山先生からのうれしいお手紙

福岡便教会は、全てにわたって行き届いたすばらしい会でございます。

まず、朝の集合のときから和気藹々とした雰囲気が始まりました。まるで懐かしい人たちが集まったかのようでした。

これは、福岡便教会の世話人の皆さんが常日頃から至誠をもつて接していらつしやるからだと思えます。

開始後、それぞれの班の巡回をさせていただきました。いずれの班の中に入って確かめるまでもなく、皆様の取り組みられている姿勢が外まで伝わって参りました。

道具を使う音が、音楽を奏でるかのようリズムを伴って聞こえて参りました。福岡便教会が大成功であることがよくわかりました。

掃除作業を終了して体育館に集まって来られる方々のお顔が皆様晴ればれとしておられました。

このように福岡便教会が見事な会に育ち私も一員として参加させていただきまして、満ち足りた気持ちを抱いて帰りました。

平成二十三年六月二十七日 鍵山秀三郎

●リーダーからいただいたコメント

①他の団体の掃除に比べ、福岡便教会がトイレ掃除を徹底されていることが素晴らしい

と感じました。帰られたら、ぜひ自分の学校や自宅でもコツコツと実践していただければと願っています。

②徹底した事前準備に低頭するばかりです。リーダーとしての心得を細かく明記されており、予定通りに終了しました。皆さんよく活動されていて感心しました。福岡便教会の活動を初めて体験させていただきました。ありがとうございました。

第七回 福岡便教会のご案内

期日 平成二十三年八月六日(土)

会場 福岡市立姪浜小学校

住所 福岡市西区姪浜二十六

電話 092・891・3421

日程 午前八時から受付 八時三十分開始

十一時五十分終了

会費 五百円(事務通信費、消耗品費、

傷害保険など。弁当なし)

申し込み 福岡市立和臼中学校

教頭 波多江 修 あて

住所 〒八二一・〇二〇一 福岡市東区三苦一・十一

電話番号 092・606・5031

Fax番号 092・606・5032

〔福岡便教会だより第六号〕発行責任者 十時宏徳

〒八二一・二四〇五

粕屋郡篠栗町大字篠栗四六五・五一

Tel&Fax 〇九二・九四七・一一〇八